

# マットに「百忍百謝」

## 越野運送

【大阪】越野運送（越野泰弘社長、大阪市都島区）では、「百忍百謝」と書かれたマットを社長室に掲示している。

百忍百謝は味の素の創業者・鈴木三郎助のつくった言葉で、「耐え忍ぶことと感謝することが大切」という意味。越野運送の社是として、大切に保管しているという。

同社では掃除用具など生活

関連用品の運搬を請け負っている。30年以上前、事務所を改装した際、掃除用具を扱う荷主から記念品として寄贈された。当時、商品として荷主が扱っていたマットに文字が記されている。

この四字熟語を選んだのは先代社長だった。越野社長は「江戸時代の陽明学者・中江藤樹は『百忍の詩』という漢詩をつくっている。困難を耐え忍んだ末にこそ、日々の幸福、喜びは訪れるもの。健康



に仕事に取り組

掃除用具を扱う荷主から寄贈された「百忍百謝」と書かれたマット

## 耐え忍び感謝忘れず

めることに感謝し、その思いを行動に移せるよう、社員教育を心掛けています」と説明する。

社員一人ひとりが常に「百忍百謝」の気持ちを持たないよう、行動指針を示した「クレド」にも社是を載せている。クレドには「明るく、元気に、素直に」といった基本行動指針も記されており、従業員の教育に役立てられている。

越野氏は「日々の業務をこなしていく中で、不満を持つたり、文句を言いたくなる場面もあるだろう。それを耐えた上で、仕事が出来ることに感謝しようという心意気が、社是には込められている。運送事業は、人と人とのつながりで成り立っている。百忍百謝を胸に刻み、日々まい進していきたい」と語る。

（黒須晃）